

## ～ 目的の電子ジャーナルへナビゲート～ 「Article Linker」の導入について

### 【はじめに】

本学では、今年度「金沢大学学術基盤整備計画」を実施し、電子ジャーナルタイトル数が昨年度の約1,400タイトルから2,800タイトルあまりまで増えました。来年度にかけてさらにタイトル数を増やしていく予定です。

電子ジャーナルのタイトル数が増えれば増えるほど、利用者の皆さんが目的とする論文を容易に入手するために、出版社ごとの**電子ジャーナルを横断的に検索**し適切な情報にたどり着くことができる**ナビゲート機能の充実**が必要になります。また、電子ジャーナルが利用できないことがわかったときには、本学や他大学の雑誌の検索、さらには複写の申込などのほかのオプションを示すことも重要になります。

本学では今年度から、こうしたナビゲーション機能を充実させるため、「Article Linker」という製品を導入しました。

### 【Article Linker とは】

Serials Solutions 社が提供する論文リンクツールです。簡単な操作により、論文データベースの検索結果から目的とする論文の全文表示までたどり着くことができます。

### 【Article Linker を使った検索例】

以下、実際の検索手順と画面の実例をご紹介します。

- ( 1 ) Scopus, Cinahl, Sociological Abstracts などの本学で利用できる論文データベースや、フリーで利用できる Google Scholar などで論文を検索します。

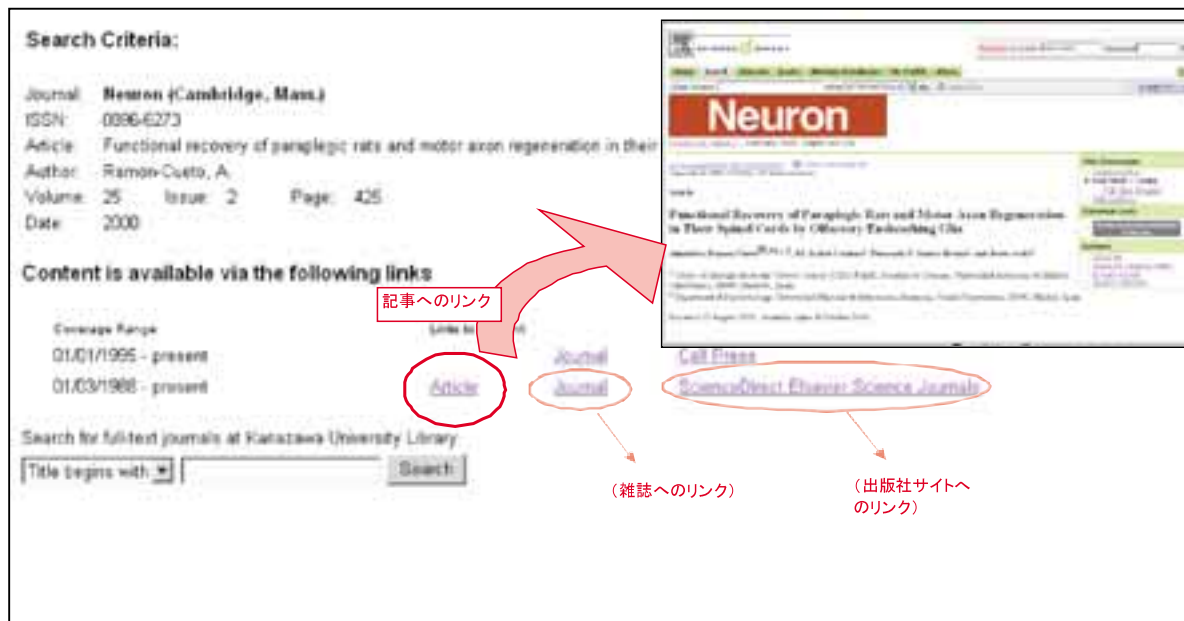
本学で利用できる主なデータベースは図書館ホームページ上で紹介しています。



- ( 2 ) 検索結果画面が表示されたら , [ARTICLE LINKER](#) や「Full Text」のアイコンをクリックします。



- ( 3 ) 本学で利用可能な電子ジャーナルかどうか , 検索結果が表示されます。  
 本学で閲覧できる電子ジャーナルの場合 , 書誌情報に続いて全文へのリンクが表示されています。「Article」をクリック すると , この論文記事の全文表示画面へジャンプします。



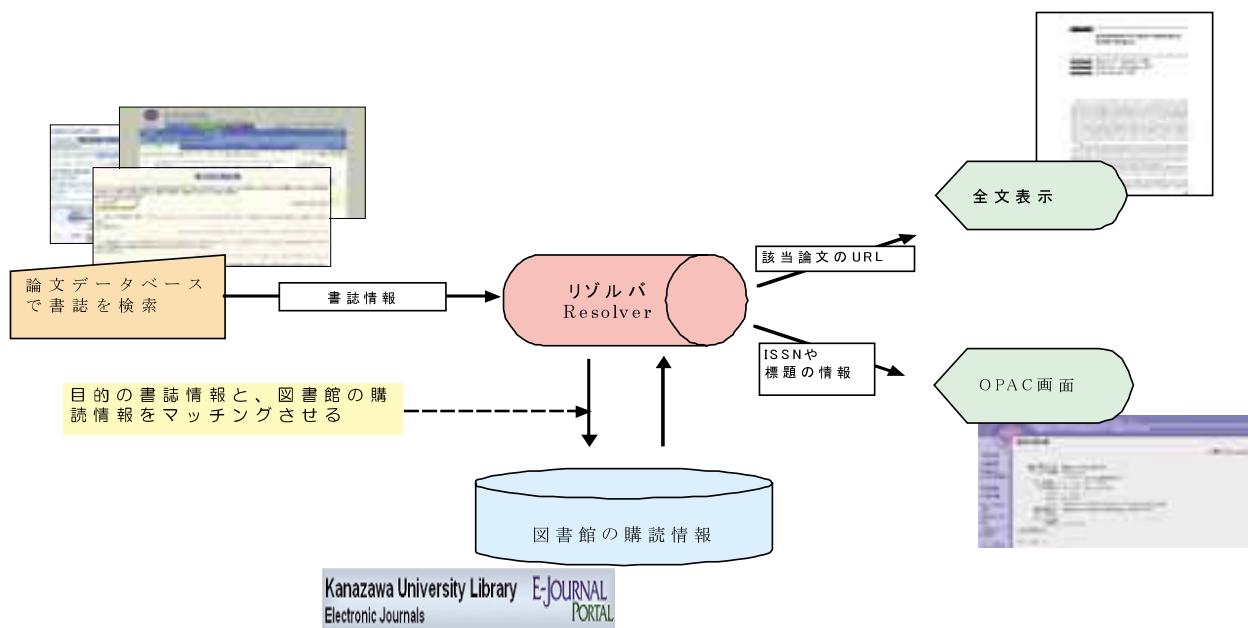
データベースによっては , 「Article」のアイコンが表示されないことがあります。そのような場合は , 「Journal」や「Resource」の出版社サイト名 ( パッケージ名 ) をクリックし , 各雑誌あるいは出版社のサイトから該当の巻号をたどってください。

(4) 本学で利用できない電子ジャーナルの場合、以下のオプション画面に進むことができます。

- 本学 OPAC 検索
- ILL 利用申込画面
- その他の検索データベースへのリンク

### 【おわりに】

参考までに、「Article Linker」のような製品を使った場合の検索の仕組みについて、全体の流れ図を示します。



リンク元とリンク先の間に、「リゾルバ」といういわば仲介役となるシステムが設置されているのが大きな特徴です。このような仕組みにより、ばらばらに点在する各種サービスがつながり合わせられ、起点となるデータベースから目的の論文まで、容易にたどり着けるようになっています。

(雑誌情報係 伊川麻里子)

図書館ホームページ <http://www.lib.kanazawa-u.ac.jp/>